

# 2020 環境講演会×SDGsシンポジウム

## 国連の開発目標SDGsでえがくみやまの未来

環境衛生課 環境衛生係 (Tel 64・1521)



エスディー・ジー・ズ

2020 環境講演会×SDGsシンポジウム「国連の開発目標SDGsでえがくみやまの未来」が、2月2日に山川市民センターで開催されました。グリーンカーテン表彰式、高校生海外派遣事業でドイツを訪問した市内の高校生4人からの報告、基調講演、パネルディスカッションなどが行われ、市内外から約230人が参加しました。

### ■基調講演 「ゼロ・ウェイスト ～小さな町の大きな挑戦～」

徳島県上勝町を拠点に「ゼロ・ウェイスト」の取り組みを全国で推進している坂野晶氏。世界経済フォーラムにおいて日本人で唯一共同議長に選出されるなど、グローバルに活躍されています。

「国外では、若い人たちが地球温暖化対策に積極的な声を上げ、政府や企業が取り組みを始めています。未来に向けて、今の私たちの生活をもう一度見直し、できることから始めましょう」との呼びかけに、会場からは大きな拍手が送られました。



坂野晶氏



SDGsとは、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略称で、2030年までに取り組むべき世界共通の目標です。「誰一人取り残さない」ことを理念とし、17の目標と、各目標を具体的にした169のターゲットが掲げられています。みやま市でもSDGs達成を目指し、さまざまな取り組みを行っています。

■パネルディスカッション (SDGsシンポジウム) 「みんなにやさしいまち みやまの未来を考える」

松嶋市長、坂野氏、大塚力弥氏(山門青年会議所)、ドイツを訪問した市内の高校生4人、コーディネーターの原口唯氏が登壇。市の総合計画「みんなにやさしいまちづくり」の実現に向け、私たち一人ひとりにできることは何か、意見を交わしました。参加した人からは、「高校生のしつかりとした考えに驚かされました」、「学んだことを毎日の生活に生かします」などの意見が寄せられました。

### ■高校生海外派遣事業報告 岡エネルギー政策課 (Tel 64・1545)

「高校生の発表を聞き、みやま市の未来を感じた」という意見が多く寄せられました。市では、将来を担う高校生を、エネルギーの取り組みで協定関係にあるドイツ連邦共和国・ライン＝フンスリュック郡へ派遣しました。エネルギーや環境についての学習に取り組み、両都市の交流を深めることを目的に行われたこの事業に参加した4人の報告(抜粋)を紹介します。 ※学年は令和元(2019)年度の表記です。

ドイツでの視察研修で学んだこと、感じていることを4人でまとめ、環境講演会で発表しました。

◆再生可能エネルギー事業は、利益を得るためではなく、まちの安心感のために行っている

◆地域みんなが環境を優先して考えている

◆時間に縛られない生き方がある

◆自分たちの生活と自然環境は密接に関係している。私たちが変わる必要性を感じた

◆国民の考え方に關する日本との違い。環境への意識が高く、良いと思う方向に自ら舵を切ることができる柔軟性がある



「各自自分の考えを持ち、共有する。みやま市への関心がより高まり、良い経験になりました」

- 1 ドイツでの研修で学んだこと
  - 2 視察に参加しての感想
- 山門高校 一年 野田 結未
  - 1 高校生が「フライデーフォーフューチャー」というデモ活動に参加していること
    - ▼環境やエネルギーの取り組みについて子どもでも理解できる方法で行われていること
  - 2 当たり前前に思っていたことが違っていたり、新しいことが学べた
    - ▼子供の頃からの環境学習が必要だと感じた
- 山門高校 二年 鶴田 真唯
  - 1 市民が積極的に白熱電球からLED電球への転換を行っていること
    - ▼高校生が環境問題について学習していること
  - 2 日本の国民はもともと自然や環境問題に関心を持ち学習することが大切
    - ▼視察の体験を今後の人生に活かしていきたい
- 伝習館高校 二年 石橋 初音
  - 1 電気自動車やシェアサイクルの導入が進んでいること
    - ▼エネルギー政策で得た利益を橋の建設費用や省エネ住宅建築への資金援助に使っていること
  - 2 環境先進国であるドイツに少しでも近づける取り組みが必要と感じた
    - ▼研修の体験を活かす多くの人に伝えエネルギー政策に貢献していきたい
- 八女工業高校 三年 久賀 瑠奈
  - 1 バイオマス発電で温水装置を運転し住民全員が利用していること
    - ▼買物時の挨拶や建物の材質などドイツの文化に触れたこと
  - 2 環境やエネルギーについて考え積極的に行動するようになった
    - ▼異文化に触れ土地の文化に合わせる大切さを学んだ

## ごみ分別アプリを4月より配信します！

ごみを出す日や分別方法を検索できる無料アプリを配信します。ごみ収集日カレンダーや、出し忘れ防止アラーム機能など、便利な機能がありますので、ぜひご利用ください。\*ダウンロードなどの通信費は利用者負担になります。

ごみの分別方法を検索できます

自分の地区で回収されるごみの種類がわかります

左下のQRコードからダウンロードできます(または各種ストアで「さんあ〜る」と検索)。  
ダウンロード後、新規登録を選択→福岡県→みやま市→町→校区→行政区でお住まいの行政区を選択してください。